

第4章

「君津市小中一貫教育」カリキュラム

各教科の概要

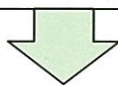
「君津市小中一貫教育」カリキュラム 国語科の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 伝えたいことを工夫して話したり、話し手の意図をつかみながら聞いたりすること
- 自分の考えが相手に伝わるように根拠を明らかにして文章を書くこと
- 内容や要旨をとらえながら読むこと
- 読書活動に親しむこと
- 語彙を豊かにし生活の中で適切に使うこと

◇君津市の児童生徒に育みたい国語科の力◇

- 相手や目的、場面や状況に応じて、適切に表現し正確に理解する能力
- 互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力
- 言葉による思考力や想像力
- 豊かな語彙力及び言語感覚
- 国語に対する関心をもち、理解を深め、国語を尊重する態度



《各区分において重点をおく指導内容》

<p>第1期 小1～小4</p>	<p>基礎づくり期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりすること。 ○相手や目的に応じて、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意したり、理由や事例を挙げたりして文章を書くこと。 ○目的に応じて、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むこと。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら話したり、話し手の意図をとらえながら聞いたりすること。 ○目的や意図に応じて、自分の考えを明確に表現するため、事実や感想、意見を区別するとともに、簡単に書いたり詳しく書いたりすること。 ○目的や意図に応じて、内容や要旨を的確に捉えること。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目的や場面に応じて、論理的な構成や展開を考えて話したり、自分の考えと比較しながら聞いたりすること。 ○自分の立場や伝えたい事柄を明確にして、目的や意図に応じて、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして根拠を明らかにした文章を書くこと。 ○目的や意図に応じて、文章の展開や表現の仕方を工夫しながら読むこと。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム 社会科の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- 自ら問題を見付けるとともに、課題の解決に見通しをもち、進んで調べること
- 資料からわかることを読み取るとともに、資料を活用して考えること
- 社会的事象の意味や働きなどについて考えたことを表現すること

◇君津市の児童生徒に育みたい社会科の力◇

- 基礎的・基本的な知識・技能
- 社会的事象について問題意識をもち、解決しようとする意欲・態度
- 課題を追究するために活用される思考力・判断力・表現力
- 資料を活用して自分の考えを説明したり、関連付けて考えたりする力

《各区分において重点をおく指導内容》

<p>第1期 小3～小4</p>	<p>基礎づくり着期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域における社会的事象を自分の目でよく見たり調べたりすること。 ○地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、資料から必要な情報を読み取ること。 ○地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて調べたことや考えたことを相手に分かるように表現すること。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○観点や質問項目を決めて、詳しく見たり聞いたりするなどの調査を行うこと。 ○地図や地球儀、年表などの資料を効果的に活用し、必要な情報を的確に読み取ること。 ○調べたことや社会的事象の意味について広い視野から考えたことを、根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明すること。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を深めること。 ○社会的事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を資料を活用し説明すること。 ○我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもち、国際社会や我が国との主体的なかわりをもって、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画しようとする資質や能力を育成すること。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム

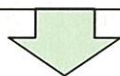
算数・数学科の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 数量や図形に関する意味や概念を理解すること
- 事柄が一般的に成り立つ理由を考え、説明すること
- 表やグラフから数量の関係を読み取り、式に表すこと
- 基礎的な知識・技能を用いて発展的に考えること

◇君津市の児童生徒に育みたい算数・数学科の力◇

- 数量や図形についての知識及び技能
- 数量の関係やきまりを見付けたり、筋道を立てて考えたり表現したりする能力
- 事象を数理的に考察し、処理する能力
- 算数・数学を学ぶ楽しさやよさを知り、生活や学習に進んで生かそうとする態度



《各区分において重点をおく指導内容》

<p>第1期 小1～小4</p>	<p>基礎づくり期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○整数の四則演算を確実に処理すること。 ○整数や小数、分数の数のきまりや仕組みについて理解すること。 ○数量の関係を具体物、半具体物、言葉、絵、図、式などを用いて表したり、説明したりすること。 ○算数的活動を通して、数量や図形にかかわる意味や概念、原則や法則について理解するとともに、量感覚について豊にすること。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○数を小数、分数、さらには正負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深め、四則計算の能力を定着させ、それらを用いる能力を伸ばすこと。 ○数量の関係を半具体物、言葉、数、式、図、表、グラフなどを関連付けて考えたり、自分の考えを分かりやすく説明したりすること。 ○算数的・数学的活動を通して、数量や図形について基礎的な概念や原理・法則について理解を深め、それらを活用して考えること。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平方根や連立方程式、二次方程式について理解し、それらを用いる能力を養い、数の概念について理解すること。 ○自分の考えについて、数学的な表現を用いて根拠を明らかにし、筋道立てて説明し伝え合うこと。 ○数学的活動を通して、既習の数学を基にして、数や図形の性質などを見いだし、発展的に考えること。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム 理科の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 自然の事物・現象から問題を見いだすこと
- 予想や仮説を設定し、検証する実験を計画すること
- 問題から与えられた条件と、グラフを関連付けて考え、理由を説明すること
- 日常生活や社会の場面において、理科で学習した知識・技能を活用すること
- 実験の結果からどのようなことが起きたのか考察すること

◇君津市の児童生徒に育みたい理科の力◇

- 自然の事物・現象に進んでかかわろうとする態度
- 予想や仮説に基づいて、観察、実験などの計画や方法を工夫して考える態度
- 観察・実験の結果を予想や仮説と比較したり、知識・技能と関連付けたりする態度
- 自然の事物・現象や科学技術などについて、考えたり説明したりする態度
- 観察・実験の結果を分析して解釈できる能力

《各区分において重点をおく指導内容》

<p>第1期 小3～小4</p>	<p>基礎づくり着期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然事象へ働きかけ、「…だろうか」といった、疑問形の問題を設定すること。 ○観察や実験の器具を目的に応じて操作すること。 ○比較や関係付けの能力を身に付けること、条件制御や推論を意識させること。 ○観察や実験で活用した技能や、結果から導き出された知識の確実な定着を図ること。 ○観察や実験の結果を基に、全体の傾向や共通性をとらえて考察すること。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然事象に関心や意欲をもって働き掛け、主体的に問題を見いだすこと。 ○自ら目的を明確にし、観察や実験を構想すること。 ○比較や関係付けの能力を活用すること、条件制御や推論の能力を身に付けること及び分析・解釈を意識させること。 ○知識や技能の確実な定着を図ることと、それらが生かされる生活場面との関連を図ること。 ○観察や実験の結果を分析して、実験方法や自分の考えを見直し改善すること。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然事象に関心や意欲をもって働き掛け、問題を見だし、観察や実験を計画すること。 ○自ら目的を明確にし、根拠ある見通しをもって観察・実験を行うこと。 ○比較、関係付け、条件制御、推論の能力を活用すること、分析・解釈する能力を身に付けること。 ○獲得した知識や技能に基づき、観察や実験の結果と日常生活との関連を明らかにすること。 ○科学的な知識や概念を根拠に、観察や実験の結果を分析し解釈して説明すること。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム 生活科の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 活動や体験を通して得られた気づきの質を高めること
- 活動や体験をもとに比較したり、関連付けたりすること
- 言葉や絵、動作や劇化などにより活動や体験を振り返り考えること
- 生活上必要な習慣や技能を身に付けること

◇君津市の児童生徒に育みたい生活科の力◇

- 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつ
- 社会及び自然との関わりの中で、自立に向けた習慣や技能を身に付ける
- 活動や体験したことを言葉、絵、動作、劇化などの方法で表現し考える

《各区分において重点を置く指導内容》

第1期	(基礎づくり期)	<ul style="list-style-type: none"> ○健康や安全に気を付けて、友達と遊んだり、学校に通ったり、規則正しく生活したりすること。 ○家族や友達や先生をはじめ、地域の様々な人々と適切に接すること。 ○地域の人々や場所に親しみや愛着をもつこと。 ○みんなで使う物や場所、施設を大切に正しく利用すること。 ○身近にある物を利用して作ったり、繰り返し大切に使ったりすること。 ○様々な手段を適切に使って直接的間接的に情報を伝え合いながら、身近な人々とかかわったり、交流したりすること。 ○身近な自然を観察したり、生き物を飼ったり、育てたりするなどして、自然との触れ合いを深め、生命を大切にすること。 ○一日の生活時間や季節の移り変わりを生かして、生活を工夫したり、楽しくしたりすること。 ○遊びに使う物を作ったり、遊び方を工夫したりしながら楽しく過ごすこと。 ○自分でできるようになったことや生活での自分の役割が増えたことなどを喜び、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつこと。 ○日常生活に必要な習慣や技能を身に付けること。 ○活動や体験したことを表現すること。
小1～小2	(基礎・基本の定着を図る時期)	

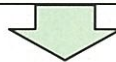
「君津市小中一貫教育」カリキュラム 音楽科の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 児童生徒自らが音楽のよさや楽しさ、美しさに気付く力
- 音や音楽の質的な世界を感じ取りながら、自分なりに批評することができる力
- 生涯にわたって楽しく豊かな音楽活動ができるための基になる能力
- 音を媒体としたコミュニケーションの力

◇君津市の児童生徒に育みたい音楽科の力◇

- 音楽と生活とのかかわりに関心をもって、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度
- 音楽文化についての関心や理解
- 楽しく音楽にかかわり、豊かな音楽活動ができるための基になる能力
- 生活や社会における音楽の働きや音楽文化に関する学習活動をとおした豊かな情操
- 創造的に表現したり鑑賞したりする力の育成
- 我が国や強度の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえるようにしていくこと



《各区分において重点をおく指導内容》

<p>第1期 小1～小4</p>	<p>基礎づくり期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心を持ち、音楽活動への意欲を高めること。 ○歌詞の内容、曲想を感じ取り、それらにふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌ったり演奏したりすること。 ○音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。 ○音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。 		
		<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○創造的に音楽にかかわり、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽活動への意欲を高めること。 ○歌詞の内容、曲想を感じ取り、それらを生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌ったり演奏したりすること。 ○音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、表現したいイメージをもち、見通しをもって音楽をつくること。 ○音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴き、音楽のよさや美しさを味わうこと。
		<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高めること。 ○歌詞の内容、曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌ったり演奏したりすること。 ○表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。 ○音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム 図画工作・美術科の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 作品完成までのイメージや見通しをもって楽しさを感じながら活動すること
- 自分なりの発想・構想を広げ、したいものを見付けること
- 既習事項を生かして、見たものや自分の思いを表現すること
- 自他の作品のよさや感じたことを互いに伝え合うこと

◇君津市の児童生徒に育みたい図画工作・美術科の力◇

- 生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもち、生涯にわたり主体的に関わっていく態度
- 感じたことや自分の思いを基に、豊かに発想する能力
- これまでの造形体験を生かし、自分の思いや発想を工夫して表現する能力
- 感性や想像力等を豊に働かせて鑑賞する資質や能力

《各区分において重点をおく指導内容》

<p>第1期 小1～小4</p>	<p>基礎づくり期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで表現したり鑑賞したりし、つくりだす喜びを味わうこと。 ○感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと。 ○表したいことを考えながら、形や色、材料などを生かして表すこと。 ○自分たちの作品や身近な美術作品の、よさや面白さを感じ取ること。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく活動に取り組み、図画工作・美術を愛好する心情を培うこと。 ○感じたこと、想像したこと、伝え合いたいことなどを基に主題を生み出すこと。 ○形や色などの表し方を身に付け、創意工夫して表現すること。 ○自分たちの作品や親しみのある美術作品の、よさや美しさを感じ取ること。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に活動に取り組み、美術を愛好する心情を深めること。 ○感じ取ったこと、考えたこと、心の世界などを基に、作品を創り出すこと。 ○形や色などの効果を生かして、自分の意図に合う新たな表現方法を工夫し、創造的に表現すること。 ○自他の作品や様々な美術作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情等を感じ取り、美意識を高め幅広く味わうこと。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム

技術・家庭科（家庭分野）の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 生活について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする事
- 生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して工夫し創造すること
- 生活に必要な基礎的・基本的な技能及び技術を習得すること
- 生活に必要な基礎的・基本的な知識を習得すること

◇君津市の児童生徒に育みたい家庭科、技術・家庭科（家庭分野）の力◇

- よりよい生活を営むために日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能、技術
- 生活課題を解決する能力と実践的な態度
- 家族や社会の一員として生活をよりよくするために進んで工夫し創造する能力と実践的な態度
- 少子高齢社会、資源や環境に配慮したライフスタイルの確立や持続可能な社会づくりのための力
- 生涯を見通して生活を設計し創造していく力

《各区分において重点を置く指導内容》

<p>第1期 小1～小4</p>	<p>(基礎づくり期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科における家庭、家庭分野と関連のある内容 ○自己と家庭・家庭と社会のつながり ○学校や家庭における豊かな実践的・体験的な活動
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期及び小学校5, 6年で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○衣食住を中心とした生活の営みを大切にしようとする意欲や態度を育てること。 ○日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ること。 ○家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てること。 ○家庭や家族の機能の重要性や人間関係の在り方について理解すること。 ○自立して主体的な生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識と技術の定着を図ること。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭や家族の機能の重要性や人間関係の在り方について理解すること。 ○自立して主体的な生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識と技術の定着を図ること。 ○中学生として自己の自立を図り、これからの生活を展望し、課題をもって主体的によりよい生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てること。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム 技術・家庭科（技術分野）の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 生活について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする事
- 生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して工夫し創造すること
- 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得すること
- 生活と技術とのかかわりについて理解すること

◇君津市の児童生徒に育みたい技術・家庭科（技術分野）の力◇

- ものづくりを支える能力となる基本的な知識と技術
- 自ら生活に関心をもち、自分で判断する能力と実践的な態度
- 技術に関する科学的な理解を基に技術を適切に評価・活用し、安心・安全な生活の実現に貢献できる力
- 生活の課題を解決するために工夫し創造できる技能と実践的な態度
- 技術を創造し、よりよい社会を構築できる力
- プログラミングや情報セキュリティ等を含めた情報活用能力



《各区分において重点を置く指導内容》

第1期 小1～小4	基礎づくり期	<ul style="list-style-type: none"> ○技術分野の指導内容と関連のある、各教科等で学んだことを生活の中で生かすこと。 ○自己と家庭や家庭と社会のつながりを実感すること。 ○実践的・体験的な学習活動をする事。 ○図画工作などにおいて習得したものづくりに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けること。
第2期 小5～小6	発展期 （第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期）	<ul style="list-style-type: none"> ○ものづくり等に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、技能等を定着させること。 ○学んだことを基に教科や生活の中に生かそうとする意識を向上させること。 ○技術の発達と必要性に気付き、関心をもちさせること。 ○情報通信ネットワーク上のルールやマナーの遵守、危険回避、人権侵害の防止等、情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動する能力と態度を身に付けること。
第3期 中2～中3	充実期 （第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期）	<ul style="list-style-type: none"> ○ものづくり等に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得させ、緻密さや正確さへのこだわりをもち、知識と技術を高めること。 ○自らが生活に関心をもち、自分なりに判断をする能力と実践的な態度を身に付けること。 ○自ら直面する課題解決に向け、学んだ知識や技能の中から、適切な方法を選択し、解決すること。 ○主体的に技術を評価し活用しようとする能力と態度を身に付けること。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム 体育・保健体育科の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 自ら進んで運動に取り組む意欲や態度
- 運動の仕方を工夫したり、考えたり、判断したりする力
- 各学年で身に付けさせたい動きや技能
- 習得した知識を活用する能力

◇君津市の児童生徒に育みたい体育・保健体育科の力◇

- 児童生徒が自ら進んで運動に親しむ意欲や運動の習慣化
- 課題の解決を目指し、運動の仕方を工夫したり、考えたり、判断したりする力
- 運動の特性や魅力に応じた、基本的な動きや技能
- 習得した知識を活用する学習活動を積極的に行うことによる思考力・判断力

《各区分において重点をおく指導内容》

<p>第1期 小1～小4</p>	<p>基礎づくり期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○運動に進んで取り組むとともに、きまりを守り、互いに協力したり、健康・安全に留意したりすること。 ○自己の能力に適した課題をもったり、運動の仕方を工夫したりすること。 ○運動を楽しく行うための基本的な動きや技能を身に付けること。 ○基礎的な事項を理解し、課題の解決を目指して、実践的に考えたり、判断したり、それらを表したりすること。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○運動に進んで取り組むとともに、協力、公正などの態度を身に付けたり、健康・安全に留意したりすること。 ○自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫すること。 ○運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けること。 ○基礎的な事項を理解し、知識を活用した学習活動などにより、課題の解決を目指し、実践的に考えたり、判断したり、それらを表現したりすること。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○運動の合理的な実践に積極的に取り組むとともに、協力、公正、責任などに対する意欲をもったり、健康・安全に関心をもったりすること。 ○学習課題に応じた運動の取り組み方や体力を高める運動の組み合わせ方を工夫すること。 ○勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けること。 ○基礎的な事項を理解し、知識を活用した学習活動などにより、課題の解決を目指し、科学的に考えたり、判断したり、それらを表現したりすること。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム 道徳の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 夢や希望をもって、未来に向けて人生や社会を切り拓く実践的な力
- 規範意識や、社会参画への意欲や態度
- 自他の生命を尊重する心情
- 我が国の伝統と文化を尊重し、継承・発展させる態度

◇君津市の児童生徒に育みたい心◇

- 自分の目標をもち、自律心をもって着実にやり抜こうとする心
- 社会のきまりを守り、礼儀や約束を大切にしようとする心
- 他者を思いやり、感謝する心
- 生命の尊さを理解し、自他の生命を尊重する心

《各区分において重点をおく指導内容》

<p>第1期 小1～小4</p>	<p>基礎づくり期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度ある生活をする心情を養うこと。 ○自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる心情を養うこと。 ○生きることを喜び、生命あるものを大切にする心情を養うこと。 ○あいさつなどの基本的な生活習慣、社会生活上のきまりを身に付けること。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけずに努力しようとする心情を養うこと。 ○自律的で責任のある行動をしようとする心情を養うこと。 ○生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する態度を養うこと。 ○集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し助け合うこと。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をはぐくむこと。 ○自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもとうとする心情を養うこと。 ○生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を養うこと。 ○他者との人間関係や、社会とのかかわりを踏まえ、人間としての生き方についての自覚を深めること。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム 外国語科の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 外国語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ること。
- 音声中心で学んだことを中学校の段階で音声から文字への学習に活かすこと
- まとまった英文の概要をとらえる、または文脈を正しく把握すること
- 文と文のつながりを工夫して、読み手に正しく伝わる文章を書くこと

◇君津市の児童生徒に育みたい外国語科の力◇

- 言語に対する理解を深め、その知識を実際のコミュニケーションに活用できる技能
- 日常的な話題や社会的な話題について、簡単な情報や考えを伝え合うことのできるコミュニケーション能力
- 文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度

《各区分において重点を置く指導内容》

<p>第1期 小1～小4</p>	<p>(基礎づくり期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語を通じて、言語や文化について、体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 ○身近で簡単な事柄について、聞いたり、話したりして自分の考えや気持ちを伝え合う。 ○相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションで活用できる基礎的な技能を身に付ける。 ○身近で簡単な事柄について、聞いたり、話したりするとともに、読んだり、書いたりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする。 ・ゆっくりはっきりと話されることについて、簡単な語句や表現を聞き取ったり、具体的な情報や短い話の概要を捉えることができるようにする。 ・活字で書かれた文字を認識して発音したり、簡単な語句や基本的な表現の意味が読んでわかるようにする。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合ったり、その場で質問したり答えたりできるようにする。 ・伝えようとする内容について整理して簡単な語句や基本的な表現を使って話すことができるようにする。 ・例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な用言を用いて書くことができるようにする。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。 ○日常的な話題や社会的な話題について、簡単な情報や考えを理解したり、それを活用して表現したり伝え合う。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム

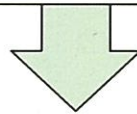
総合的な学習の時間の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 日常生活や社会に目を向け、自ら課題を設定すること
- 収集した情報を整理・分析して、自らの考えや意見を新たに更新すること
- 互いに教え合い学び合うこと
- 地域に対する関心・愛着をもつこと

◇君津市の児童生徒に育みたい総合的な学習の時間の力◇

- 主体的に考え、よりよく問題を解決する資質や能力
- 情報を収集・整理・発信する力
- 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度
- 自己の生き方を考える力



《各区分において重点をおく資質や能力及び態度》

<p>第1期 小3～小4</p>	<p>基礎づくり期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活や社会などの対象との体験的なかかわりの中から、教師や友達と話し合いながら課題を設定するとともに、課題解決のために進んで調べようとする。 ○学習の仕方や手順を身に付け、調べたことを発表すること。 ○探究活動に関心をもって取り組み、他者や地域とかかかわるとともに、地域のよさを知り、地域に親しむこと。 ○自分のできたことを見つめ、意欲をもつこと。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの経験や既習の(学習)内容を基に、自分の課題を設定するとともに、自分のもっている知識や技能を課題解決のために活用し、最後まであきらめずに探究すること。 ○いろいろな学習方法を知り、相手や目的に応じて発表の仕方を工夫すること。 ○計画的に探究活動に取り組み、友達や地域と積極的にかかわり合うとともに、地域に関する学びを深めること。 ○自分の学びのよさに気付くことで、自信をもち、生き方の発見につなげる。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の生き方につながるような課題を設定するとともに、自分の経験や知識、技能を活用し、よりよい課題解決のために試行錯誤しながら粘り強く探究すること。 ○学習過程を通して培われた自分なりの考えを相手や目的に応じて発表の仕方を工夫すること。 ○主体的・創造的・協働的な学習に取り組み、仲間や地域の人々とのつながりを深めるとともに、地域に参画すること。 ○将来の生き方を幅広く考え、夢と希望をもち、自分に合った進路選択をすること。

「君津市小中一貫教育」カリキュラム

特別活動の概要

◇君津市の児童生徒の課題◇

- 話し合いの活動計画を適切に設定すること
- 自分の思いを自分の言葉で伝えたり、相手の考えを尊重して話し合ったりすること
- 創意工夫して、話し合いの結果をよりよい実践につなげること

◇君津市の児童生徒に育みたい特別活動の力◇

- 様々な集団活動を通して、望ましい人間関係を形成する力
- 集団の一員として、協力し合って問題解決に取り組む実践的態度
- 集団生活の中でよりよく自己を生かす能力
- 主体的に社会の形成に参画しようとする態度

《各区分において重点をおく指導内容》

<p>第1期 小1～小4</p>	<p>基礎づくり期 (基礎・基本の定着を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教師と一緒に活動計画を作成し、実践を通して、話し合い活動の進め方や役割を理解すること。 ○友達の意見をよく聞いたり、理由を明確にして意見を伝えたり、受け止めあったりして集団決定をすること。 ○学級生活に必要な仕事を見付け、よりよい学級生活にするための係活動に取り組むこと。 ○めあてを明らかにしたうえで役割を分担し、協力し合って楽しく集会活動をすること。
<p>第2期 小5～中1</p>	<p>充実期 (第1期で身に付けた基礎・基本の拡充を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○活動計画を作成し、自主的に話し合いを進めること。 ○自分の言葉で建設的な意見を言ったり、多様な意見のよさを生かしたりして、よりよい集団決定をすること。 ○楽しく豊かな学級・学校生活をつくるために、創意工夫して継続的に係活動を進めること。 ○互いのめあてや役割、活動の反省を生かし、信頼し支え合って創意工夫して集会活動をすること。
<p>第3期 中2～中3</p>	<p>発展期 (第2期までに身に付けた力の発展・充実を図る時期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自主的に活動計画を作成し、実践すること。 ○自覚と責任感に基づき、グループや全体での話し合いなどによって集団の意思決定をすること。 ○学級生活の充実と向上のために、学級内の組織作りや仕事分担をして主体的に取り組むこと。 ○活動の目標を達成するために、各自が責任を果たし、互いに協力し合って、学級や学校の生活の充実と向上を図ること。